

和島地域コミュニティ組織等設立に向けた意見交換会・ワークショップ(案)

1 全体テーマ

『どんな部会であるべきか』（部会の活動内容、部会の目標・目指すべきもの）

- 目的 ①参加者、活動団体等地域住民のコミュニティ組織等への意識向上
 ②部会の活動内容(案)の作成
 ③部会の活動内容(案)から、必要となる施設の機能について、検討委員会で検討

2 進行

- 各回とも、参加者を班分け（7～9名）し、ファシリテーターの進行に基づきグループワークの方法（KJ法等）により検討・意見交換を進行する
- 会の前段で、各回ともコミュニティ組織等についてのレク・情報提供する時間を設ける
- 5月から概ね毎月、全5期に分けて開催する
 各期とも部会ごとに分けて開催する（各期3回開催）
 ※各回定員 45名×3回（①スポーツ＋文化 40 ②まちづくり 40 ③健康福祉 33人）

	レク（20分）	検討内容（90分）	決定すべきこと
（1期）5月	『コミュニティ組織とは』 『なぜコミュニティ組織を作るのか』	①現在地域で抱えている課題 ②(①の解決のために)すべきこと・したいこと	
（2期）6月	前回での不明点	1期の内容を踏まえてもう1度 ①現在地域で抱えている課題 ②(①の解決のために)すべきこと・したいこと	
（3期）7月	〃	現実にできる内容、R5に実施できる内容…の観点で、 2期までの②内容(活動内容)を、絞り込み	
（4期）8月	〃	②内容(活動内容)の絞り込み ⇒まとめ	(活動内容に沿った)施設機能
（5期）9-11月	〃	まとめ	活動内容(案)

3 対象者

地域内活動団体 113 団体 ＋ 一般住民（10～20？） ＝120～130？
 （スポーツ：17 / 文化：23 / まちづくり：40 / 健康福祉：33 名簿計 113）

4 参加方法

- 活動団体等 113 団体へ文書案内する他、各戸配布又は集落回覧で開催案内する
- 参加について事前申込を受ける（各回定員まで受け付ける）

活動団体の意見交換 開催方法案

- 実施方法**
- 活動団体（及び希望する地域住民）を参集し、コミュニティ組織等についての意見を出してもらう等、協議を行う。
 - 会議では、外部講師によるファシリテーター（会議進行）を招聘し、ワークショップ等の方法で実施する。
 - 各部会ごとに会議開催、それぞれ5回（R3.8月までは4回）開催する
 - 多くの意見を出すこと、及びコミュニティ組織設立後の活動内容の概要を作ることを目的とする。

- 目的**
- コミュニティ組織の活動内容等についてのアイディア出し
 - 活動団体・住民の参加意識の向上

- 協議内容**
- ①部会・コミュニティ組織全体の事業内容
 - ②事業内容から、必要となる施設
（その他、部会・組織構成等、関連事項はなんでも）

【参考 寺泊地域コミュニティ推進検討委員会での実施例】

第1回 (H27.9.17)	①参加者全員を参集し、コミュニティセンター等について趣旨説明 ②説明後、部会ごとに分かれてワークショップ開催 ③参加者が“自己紹介シート”の記入・発表 「名前・所属・普段の活動・コミセンでやりたいこと」…を記入 ④ファシリテーターが「やりたいこと」の意見を取りまとめ （『健康』『地域活性化』『子育て』…等の分類を行う） ⑤まとめた内容に参加者が投票
第2回 (H27.11.17)	①第1回でまとめた資料を各部会で共有 ②第1回で出た意見を、「実現性が高い～低い」「将来的に出来る～今できる」の2つの観点から分類 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>
第3回 (H28.1.28)	①各部会のキャッチフレーズ・スローガン作り ②第2回までに出的意見のランク付け ⇒ コミュニティ組織実施事業として実施検討へ